

那須地域における県オリジナル品種「とちぎの星」の高品質安定多収栽培法の検討

要約

- ・那須地域において、5月下旬に植えた「とちぎの星」は早植えコシヒカリに比べ多収となる可能性が高い。
- ・窒素成分の含有量が高い専用肥料を活用することで、肥料代を抑えながら高品質・多収の生産が可能となり、収益性を改善する可能性が示された。

○ 展示のねらい

経営面積が30haを超える経営体が増加している那須地域において、さらなる経営規模の拡大を図るためには、高温登熟性や収量性に優れ、「コシヒカリ」と作期分散が可能な「とちぎの星」の導入が必要であることから、管内の気候に適した栽培法を検討する。

展示概要

品種	施肥窒素量	田植え日	施肥資材（N-P-K-Si）	供試面積
とちぎの星	6 kg/10a	5/27	とちぎの星専用プレミア（12-12-12-6）	30 a
コシヒカリ	5 kg/10a	5/11	プレミア1号(6-16-16-10)	30 a

○ 主な成果

表 成熟期調査及び収量調査結果

	出穂期 月/日	成熟期 月/日	稈長 cm	穂長 cm	1穂粒数 粒/穂	穂数 本/m ²	倒伏 程度	整粒歩合 %	千粒重 g	精玄米重 kg/10a	玄米 品質
とちぎの星	8/13	9/23	102	21.2	103	382	0.0	97	24.4	713	1等
コシヒカリ	7/30	9/07	94	20.5	96	337	1.0	96	21.2	581	1等

- ・「とちぎの星」の穂長、1穂粒数や穂数は、「コシヒカリ」に比べ高い（多い）傾向であった。なお、「とちぎの星」の稈長は102cmとなったが、倒伏はほとんど見られなかった一方で、「コシヒカリ」の倒伏程度は1.0であった（表）。
- ・「とちぎの星」の精玄米重は713kg/10aで、「コシヒカリ」比123%となった（表）。
- ・「とちぎの星」は、多収かつ高品質であった（表）ことから、販売代金^{*}から肥料代を引くと、「コシヒカリ」に比べ40,223円/10a高くなった（図）。

※とちぎの星：18,700円/60kg、コシヒカリ：19,300円/60kgで計算

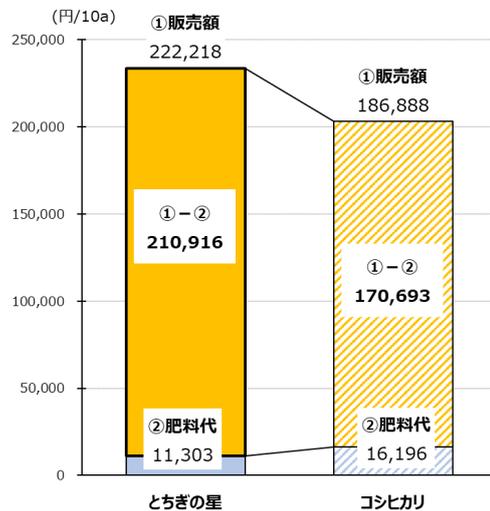


図 販売額と肥料代

○ 今後の方向性

「とちぎの星」は、5月下旬の田植えでも多収かつ高品質を実現できる可能性が示されたことから、管内の大規模経営体に対して導入を推進する。同時に、斑点米カメムシ防除の効果を維持するため、「とちぎの星」の栽培ほ場を隣接地域でまとめる（＝ゾーニング）ことも併せて推進していく。

実施機関：那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：大田原市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315